

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市山田市場PJ	階数	地上5F
建設地	吹田市山田市場	構造	S造
用途地域	近隣商業地域・第二種中高層住居専	平均居住人員	102 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月 予定	評価の実施日	2024年9月4日
敷地面積	1,006 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 ラフト 松永 康宏
建築面積	617 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,547 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.7**

**Q1 室内環境** Q1のスコア= 3.0

**Q2 サービス性能** Q2のスコア= 2.5

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア= 2.7

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.0**

**LR1 エネルギー** LR1のスコア= 3.3

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア= 2.7

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	特に無し。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料をほぼ全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー	BPI≤0.80	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率87%
Q2 サービス性能	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。	
LR2 資源・マテリアル	ODP=0.01未満かつ、GWPが低い発泡剤を用いた断熱材等を使用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称	(仮称)吹田市山田市場PJ						
建設地	吹田市山田市場						
用途/区分	病院 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能					5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
④	エネルギー消費性能					3	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分			3		
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					2.8	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							